

自然系ジュニア学芸員2013年の実習活動(1)



写真1 収蔵室の温度湿度管理

標本を高湿度によるカビ等から守るため、温度と相対湿度を測定記録し、異常がないかを確認。



写真2 収蔵室の除湿器の排水

収蔵室内の湿度を低く保つために、家庭用除湿器を配置して、除湿・排水を行う。



写真3 ツルグレン装置用土壌の管理

2階常設展示で肉眼では観察しにくい土壤生物展示用に、落葉落枝を加えて、土壤生物が増えるように管理をする。



写真4 自動撮影装置の管理

自動撮影装置(トレイルカメラ)を使って、シカ、タヌキ、テン、キツネなど科学館周辺の野生動物の生息調査を行う。



写真5 里山の動物の足跡調査

科学館周辺に生息する野生動物の足跡やフン等のフィールドサインを探し、調査する。



写真6 コケ観察・撮影・採集

科学館周辺の蘚苔類(コケの仲間)を探して、調べて、図鑑や顕微鏡で同定するために必要最小限を採集する。



写真7 文献・図鑑を用いたコケ標本同定

採集してきた蘚苔類を各自、図鑑や文献を用いて、種を同定する。種の特徴などを講座生同士で議論。



写真8 実体顕微鏡による観察・同定

採集した蘚苔類の同定で、肉眼では中々確認しにくい微細な構造を実体顕微鏡を用いて、詳細に観察する。

自然系ジュニア学芸員2013年の実習活動(2)



写真9 野外でのきのこ解説

科学館は里山に囲まれている。科学館周辺の雑木林で発生するきのこ相について専門家からレクチャーを受けている。



写真10 きのこ野外調査

科学館周辺の雑木林で、2班に分かれてきのこの発生調査。沢山の目があると見逃しがちなきのこ種も発見できる。



写真11 きのこ凍結乾燥標本作成

採集したきのこのうち、展示に向いている美しいものは、一度冷凍してから凍結乾燥機にかけて、展示物に仕上げる。



写真12 きのこ温風乾燥標本作成

学術的きのこ標本を残す場合には、標本ラベルを正確に書いて、デヒドレーターを使って温風乾燥標本にする。



写真13 きのこ凍結乾燥標本の耐湿樹脂塗布

凍結乾燥した展示用きのこ標本に耐湿樹脂を塗布し、長期間の展示に耐えられるよう加工処理をする。



写真14 ドイツ式標本箱の防虫処理

空いたドイツ式標本箱に防虫処理するため一つずつ開けて防虫剤を封入する。フタに上下があるので要注意。



写真15 展示する鳥類剥製調査

1月までの月ごとの桜山公園で観られる野鳥について、展示標本のリストを見ながら、しるしを付けて行っている作業。



写真16 鳥類剥製標本調べ

どのタンスのどの引き出しに、どんな種の鳥類剥製があるかを調べる。世界的に著名な折居彪二郎採集標本も含む。

自然系ジュニア学芸員2013年の実習活動(3)



写真17 サンプル冷凍庫周りのラック組立

研究室、ストッカー上、標本製作室などを実習で使いやすいようにするため、ラック組み立てにより空間有効利用する。



写真18 FM ゲンキへの出演

FM ゲンキの「飛び出せ街の元気人」コーナーに出演。講座について、各個人の研究テーマ・得意分野等で科学館をPR。



写真19 実習器具の洗浄・乾燥・格納

実習の後片付け。実習は来館後、講座生自身で準備して、実習後に器具の洗浄、格納。掃除を協力して行う。



写真20 展示用火山灰入りシャーレ作成

常設展示の展示物を直したり、新しく作ったりする。新燃岳の火山灰を新たな滅菌シャーレに入れて接着しているところ。



写真21 収蔵室内の大掃除

標本収蔵室では標本を昆虫による食害やカビによる菌害から守る必要がある。そのため常に室内を清潔に保つ。



写真22 実習後のゼミ

研究室にて、その日の実習のまとめやお話会の話の組立て・準備を講座生同士でパソコンを使いながら行うゼミ。



写真23 企画展特別展ワークショップの補助

企画展「新春の植物」にて木の葉で手裏剣を作る工作を来館者にレクチャーするために、まず自分たちがマスターする。



写真24 「昆虫折紙レクチャー」のお話会

自然のお話会にて、特別展「むしムシ大集合」に合わせて、昆虫折り紙を来館者にレクチャーしているところ。

自然系ジュニア学芸員2013年の実習活動(4)



写真25 淡水ガメ捕獲用仕掛け設置

科学館前のため池に「もんどり」を仕掛けて、淡水ガメの捕獲をした。餌や仕掛ける場所を自分たちで考えた。



写真26 捕獲したニホンスッポンの測定

「もんどり」で捕獲した淡水ガメの甲長や体重などを測定。ニホンスッポンは噛む力が強いので安全第一で実習した。



写真27 「真冬の淡水ガメ調査報告」のお話会

来館者の皆さんが関心を持って楽しく自然のお話を聞いてもらえるよう、野外調査の格好で淡水ガメのお話をした。



写真28 「へびを触ろう」のお話会

自然のお話会で、講座生が飼育しているコーンスネークを触ってもらう事を入口にしてへびについて解説を行った。



写真29 「スルメイカの解剖」のお話会

自然のお話会で、2倍大のスルメイカ模型と比較しながらスルメイカを解剖し、頭足類の身体の構造について解説。



写真30 お話会の会場準備と片づけ

お話する担当だけが主役ではなく、お話会の前後にイスを配置したり片づけたりするチームワークが講座の中では重要



写真31 釣ったザリガニの展脚

科学館裏の沢にてザリガニ釣りて捕獲した個体を展示標本にするため、脚を虫ピンで広げて格孔の姿に固定する。



写真32 野鳥本剥製展示解説の入替え

毎月展示替えを行っている桜山公園でみられる野鳥を内側に入って標本の入替えを行う。微調整を外から目線で確認する。